

令和2年度古河市市政功労者

市政の発展に功績のあった22人を以下のとおり古河市市政功労者に決定しました。

市政功労者(順不同・敬称略)

●自治功労

船橋新五(新和田) 農業委員
関口正一(釈迦) 農業委員
鈴木実(大山) 農業委員
黒子邦夫(諸川) 農業委員
山崎朋美(三和) 自治会長
岩立浩一(北町) 自治会長
児島武史(恩名) 消防団本部員
植竹敏久(長谷町) 消防団員

●産業功労

関根正一(大和田) 土地改良区役員(理事長経験者)
山中将平(恩名) 農業振興地域整備促進協議会委員
大山佳功(桜川市) 農業振興地域整備促進協議会委員

●教育功労

丸山稔弘(上辺見) 学校歯科医
岡野富子(松並) 青少年相談員
山田幸助(大山) 同和教育推進協議会委員
多並とみ子(大山) 同和教育推進協議会委員
小林留四郎(常盤町) 同和教育推進協議会委員
関根ひろ子(山田) 社会教育委員会委員
内山俊身(常盤町) 文化財保護審議会委員
羽生修二(東京都大田区) 文化財保護審議会委員

●福祉功労

金久保睦子(前林) 民生委員児童委員
井原達哉(本町) 介護認定審査会委員
岩瀬祥枝(境町) 介護認定審査会委員

古河歴史博物館開館30周年記念 特別展「国宝参上。」



▲国宝「鷹見泉石像」を鑑賞する来館者

1月9日～17日、古河歴史博物館で特別展「国宝参上。」を開催しました。会場には、83年ぶりに古河市に初めて里帰りした国宝「鷹見泉石像」のほか、葛飾北斎の「七面大明神応現図」や河鍋曉斎、奥原晴湖の作品など16点に及び古河に縁のある貴重な文化財を展示。

県の緊急事態宣言の発令に伴い、会期半ばでの中止となりましたが、多くの人々が訪れ「国宝が古河で見られるとは思わなかった」などと話していました。

古河の風景を芸術で表現

古河市ゆかりの作家たち

9月26日～12月13日、古河街角美術館で古河市ゆかりの作家たちを開催しました。

会場には、古河にゆかりのある作家が制作した日本画や彫刻など39点を展示。

猪瀬開蔵作の「野火」を鑑賞した来館者からは「渡良瀬遊水地の葦焼きの臨場感が伝わってくる」などの声が聞かれました。



▲ゆっくりと作品を楽しむ来館者

世界につながる扉を開こう

古河市ウインター・イングリッシュ・キャンプ



▲生徒にアメリカのクリスマスについて説明するALT

12月19日、古河市ウインター・イングリッシュ・キャンプをオンラインで開催し22人の生徒が参加。ALT(外国語指導助手)がオンライン会議アプリを使用して、中学生と英語のみで母国のクリスマスや文化などについて話をしました。

参加した生徒からは「英語で話せて楽しかった。また参加したい」などの声が聞かれました。

ICTで広がる新たな教育のカタチ

Google for Education Kickstart Program in KOGA

12月14日～23日のうち6日間、コスモスプラザで、市内小中学校の教職員を対象とした学習支援ソフトウェアの操作研修会をGoogle社の協力のもと開催しました。ICT技術向上を目的とした今回の研修には、202人が参加。来年度から児童生徒が使用する、学習支援ソフトウェアに対する知識と理解を深めました。



▲Chromebookを活用した授業づくりを学ぶ教職員

文化芸術に触れよう

プロダンサーによる ヒップホップダンス特別授業



▲ダンサーの手本を見ながら、まねして踊る生徒たち

12月3日、総和南中学校で文化庁の子供育成総合事業の一環でヒップホップダンス特別授業が行われました。3年生138人は、世界で活躍するプロダンサーによる圧巻のステージの後、分かりやすい指導の下で簡単なダンスを踊りました。生徒たちは「間近で見るプロのダンスは格好良かった。また踊ってみたい」と生き生きと話していました。